

題名 広島平和記念式典派遣事業に参加して考えること。

鹿沼市立北押原中学校 (氏名) 上田 瑞希



派遣事業を通して戦争の悲惨さを実際に目で見て、肌で感じ、
学び、平和の尊さを心から実感することができました。資料館に展示されている遺
品にはさまざまな人々がどのように毎日を過ごしていたのかが目に見え、当たり前
の毎日が 1 つの原子爆弾によって一瞬で変わってしまったことが印象に残りまし
た。そして原爆ドーム見学では、原爆が投下された時から現在まで残っていたこと
を知り、当時の情景がより浮び平和とは何かを深く考えることができました。現在
の小学生・中学生・社会人は戦争の恐ろしさが薄れてきているのが現状です。その
ため派遣事業で学んだ戦争の悲惨さや平和の尊さを少しでも多くの人に伝えてい
きたいです。